

授業科目名 (ナンバリングコード)	体育・スポーツ史 (131A0-1302)		授業形態	講義	授業科目区分	専門科目 (基礎科目A)				
担当教員名	山田 理恵				補助担当者名					
単位数	2 単位		履修年次	1年次	受け入れ人数	70名程度				
授業の概要	本授業では、体育・スポーツの歴史を通史的に概観し、各時代、各社会における体育・スポーツの特質を考察することを通して、体育・スポーツに対する理解を深め、将来の身体文化の在り方を考究する。 それらによって、専門的な知識に基づいて、論理的に考え表現できる能力および課題解決に向けて考え実践できる能力を身につけることが期待される。									
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法						
	D Pで 目指す 資質・ 能力	科学的表現力、専門的な知識・教養 (課題解決能力)	授業期間				定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表				
		■認知的領域	体育・スポーツをめぐる諸現象を歴史的に論じることができる。 各時代、各社会における体育・スポーツの特質を論じることができる。		○	○		○		80
		■情意的領域	授業に積極的に参加する。 課題に意欲的に取り組む。	○	○	○				20
□技能的領域										
成績評価の基準	授業時に実施する小テスト（前回の授業内容について）や小レポート、課題（レポート2課題）、学期末試験（論述式）の成績、授業に対する積極的な取り組み方等を総合的に評価する。									
テキスト、教材 参 考 書	テキストとして、木村吉次編著『体育・スポーツ史概論 改訂3版』（市村出版）を購入すること。 参考書は適宜紹介する。また必要に応じて資料を配付する。									
履修条件・ 関連科目	特になし。		備考(教員メッセージ含む)		テキストに沿って授業を行うので、必ずテキストの準備をし、予習・復習（次の授業時に実施する小テストの準備も含む）をすること。					
オフィス・アワー	随時（705研究室）									
授業計画										
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)					
1	山田 理恵	体育・スポーツの歴史を学ぶ意義			テキスト・参考書等の予習および復習（30分以上）					
2	〃	人類の進化とスポーツ			テキスト・参考書等の予習および復習（50分以上）					
3	〃	古代ギリシア・ローマの体育・スポーツ			テキスト・参考書・資料等の予習および復習（50分以上）					
4	〃	古代日本の体育・スポーツ			テキスト・参考書等の予習および復習（50分以上）					
5	〃	中世西洋・日本の体育・スポーツ			テキスト・参考書等の予習および復習（50分以上）					
6	〃	近世日本の体育・スポーツ①			テキスト・参考書等の予習および復習（50分以上）					
7	〃	近世日本の体育・スポーツ②			テキスト・参考書等の予習および復習（50分以上）					
8	〃	近代体育の源流と国民体育理論の展開			テキスト・参考書・資料等の予習および復習（50分以上）					
9	〃	欧米近代スポーツの日本への移入と展開			テキスト・参考書等の予習および復習（50分以上）					
10	〃	近代オリンピックの展開			テキスト・参考書等の予習（レポート作成を含む）、復習（240分以上）					
11	〃	戦争と体育・スポーツ			テキスト・参考書等の予習および復習（50分以上）					
12	〃	戦後の復興と体育・スポーツ			テキスト・参考書等の予習および復習（50分以上）					
13	〃	スポーツと国際平和			テキスト・参考書等の予習および復習（50分以上）					
14	〃	競技の歴史とオリンピック・パラリンピック・ムーブメント			テキスト・参考書等の予習（レポート作成を含む）、復習（240分以上）					
15	〃	伝統スポーツの現代的意義			テキスト・参考書等の予習および復習（50分以上）					
16	〃	学期末試験（論述式）			テキスト・参考書・資料等の予習（学期末試験の準備）および復習（240分以上）					